

令和2年国勢調査 人口等基本集計

結果の概要

-岡山市-

目次

1	人口	3
	(1)市の人口	3
	(2)行政区別人口	5
2	年齢別人口	6
	(1)市の年齢別人口	6
	(2)行政区、年齢別人口	9
3	配偶関係別人口	11
4	外国人人口	13
5	世帯の状況	14
	(1)世帯数と世帯規模	14
	(2)世帯の家族類型	17
	(3)65歳以上世帯員のいる世帯	20
	(4)母子世帯・父子世帯	22
6	住居の状況	23
	(1)住宅の建て方	23
	(2)住宅の所有の関係	25

利用上の注意

- この「結果の概要」は、令和3年11月30日に総務省統計局から公表された令和2年国勢調査の「人口等基本集計*」の結果から岡山市に関する部分をまとめたものです。

*…人口等基本集計とは、全ての調査票を用いて人口、世帯、住居に関する結果及び外国人、高齢者世帯等に関する結果について集計した確定値です。

- 結果の概要に使用している表及び図は、令和2年国勢調査時の岡山市域に組み替えたものです。
- 昭和55年以前の数値に、昭和57年の早島町との境界変更は反映されていません。
- 数値の単位未満は四捨五入を原則としています。したがって、総数と内訳の合計とが一致しない場合があります。
- 表中の「-」は該当数字なし、「0」、「0.0」は単位未満、「△」は負の値を表しています。
- 各種割合は、特に注記のない限り、分母から不詳を除いて算出しています。
- 人口密度の算出にあたり、面積は国土交通省国土地理院「令和2年全国都道府県市区町村別面積調（10月1日時点）」を用いています。

1 人口

(1)市の人口

令和2年の国勢調査人口は724,691人

令和2年10月1日現在の岡山市の人口は724,691人で、前回調査（平成27年）に比べ5,217人増加している。

昭和40年(1965年)以降の55年間の人口（令和2年国勢調査時市域への組替人口）増加率の推移をみると、昭和45～50年の10.9%がピークであり、昭和60年以降は5%以下の水準で推移した。その後、平成12年は1.7%に縮小した後、平成17年には3.2%と増加率が拡大したが、平成22年以降再び縮小に転じ、令和2年の増加率は0.7%となっている。

【図1,表1】

図1 男女別人口及び人口増加率の推移 -岡山市(昭和40年～令和2年)

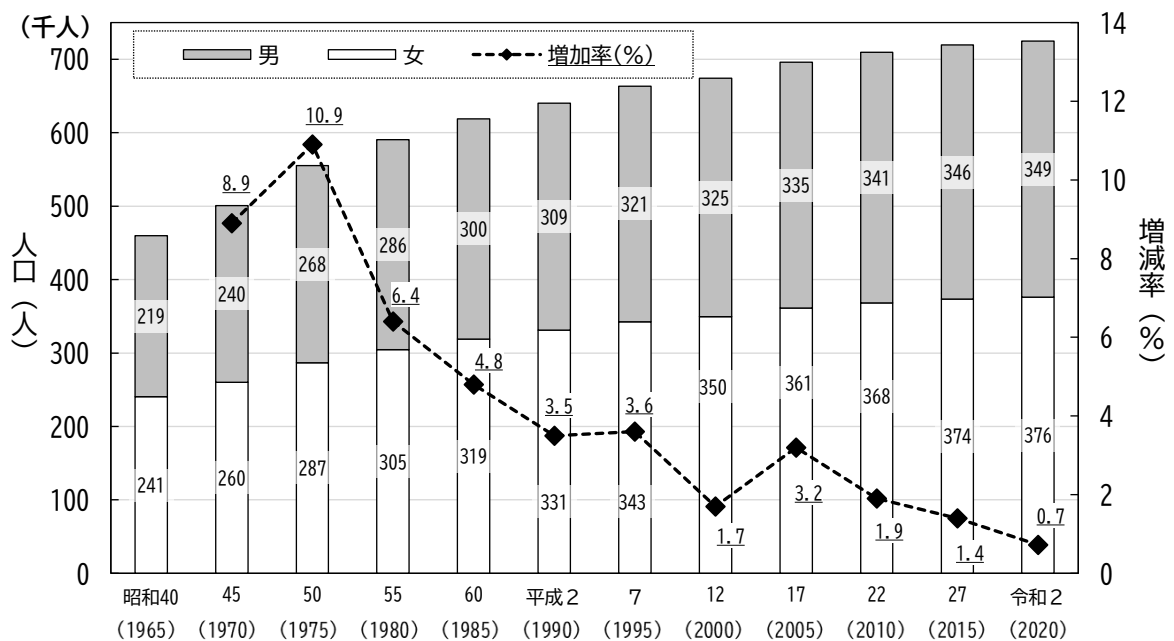


表1 男女別人口の推移 -岡山市(昭和40年～令和2年)

年次	人口(人) 1)			平成27～令和2年		人口密度 2) (人/k㎡)
	総数	男	女	増減数(人)	増減率(%)	
昭和40年 (1965)	459,671	219,125	240,546	-	-	581.9
45 (1970)	500,599	240,299	260,300	40,928	8.9	633.7
50 (1975)	555,051	268,147	286,904	54,452	10.9	702.6
55 (1990)	590,424	285,909	304,515	35,373	6.4	747.4
60 (1985)	618,950	299,777	319,173	28,526	4.8	783.5
平成2年 (1990)	640,406	309,407	330,999	21,456	3.5	810.7
7 (1995)	663,346	320,686	342,660	22,940	3.6	839.7
12 (2000)	674,375	324,808	349,567	11,029	1.7	853.7
17 (2005)	696,172	334,771	361,401	21,797	3.2	881.3
22 (2010)	709,584	341,158	368,426	13,412	1.9	898.3
27 (2015)	719,474	345,913	373,561	9,890	1.4	910.8
令和2年 (2020)	724,691	348,630	376,061	5,217	0.7	917.4

1) 令和2年国勢調査時の市域への組替人口

2) 人口密度の算出に使用する面積は、令和2年10月1日現在のもの(789.95k㎡)を使用

21 大都市の中で人口増減率は 10 番目、人口は 20 番目

21 大都市（政令指定都市及び東京都特別区部）の中で岡山市の人口規模をみると、平成 27 年調査と変わらず 20 番目であった。

また、平成 27～令和 2 年の人口増減をみると、政令指定都市のうち 8 都市が人口減少となる中、岡山市は、人口増減数は 5,217 人の増加で 11 番目、増減率は 0.7%増で 10 番目となっている。

【表 2】

表 2 21 大都市の人口及び人口増減 –政令指定都市及び東京都特別区部(令和 2 年)

人口（令和 2 年）		人口増減数 （平成27～令和 2 年）		人口増減率（%） （平成27～令和 2 年）				
1	東京都区部	9,733,276	1	東京都区部	460,536	1	東京都区部	5.0
2	横浜市	3,777,491	2	福岡市	73,711	2	福岡市	4.8
3	大阪市	2,752,412	3	川崎市	63,049	3	さいたま市	4.8
4	名古屋市	2,332,176	4	大阪市	61,227	4	川崎市	4.3
5	札幌市	1,973,395	5	さいたま市	60,046	5	大阪市	2.3
6	福岡市	1,612,392	6	横浜市	52,647	6	名古屋市	1.6
7	川崎市	1,538,262	7	名古屋市	36,538	7	横浜市	1.4
8	神戸市	1,525,152	8	札幌市	21,039	8	仙台市	1.3
9	京都市	1,463,723	9	仙台市	14,545	9	札幌市	1.1
10	さいたま市	1,324,025	10	広島市	6,720	10	岡山市	0.7
11	広島市	1,200,754	11	岡山市	5,217	11	相模原市	0.7
12	仙台市	1,096,704	12	相模原市	4,714	12	広島市	0.6
13	千葉市	974,951	13	千葉市	3,069	13	千葉市	0.3
14	北九州市	939,029	14	熊本市	△ 1,957	14	熊本市	△ 0.3
15	堺市	826,161	15	浜松市	△ 7,262	15	京都市	△ 0.8
16	浜松市	790,718	16	京都市	△ 11,460	16	神戸市	△ 0.8
17	新潟市	789,275	17	静岡市	△ 11,600	17	浜松市	△ 0.9
18	熊本市	738,865	18	神戸市	△ 12,120	18	堺市	△ 1.6
19	相模原市	725,493	19	堺市	△ 13,149	19	静岡市	△ 1.6
20	岡山市	724,691	20	新潟市	△ 20,882	20	北九州市	△ 2.3
21	静岡市	693,389	21	北九州市	△ 22,257	21	新潟市	△ 2.6

注) 平成27年人口は令和2年調査時の市域への組替人口

(2)行政区別人口

行政区別人口は、北区が 314,523 人で市全体の 43.4%

行政区ごとの人口をみると、北区が 314,523 人で最も多く、岡山市全体の 43.4%を占めている。次いで南区が 167,828 人(23.2%)、中区が 149,232 人(20.6%)となっており、東区は 93,108 人(12.8%)で最も人口の少ない区となっている。

平成 27 年～令和 2 年の人口増減数を行政区別にみると、北区が 5,039 人、次いで中区が 3,000 人増加しているが、東区では 2,469 人、南区では 353 人減少している。【表 3】

表 3 行政区、男女別人口の推移 -岡山市、行政区(平成 22 年～令和 2 年)

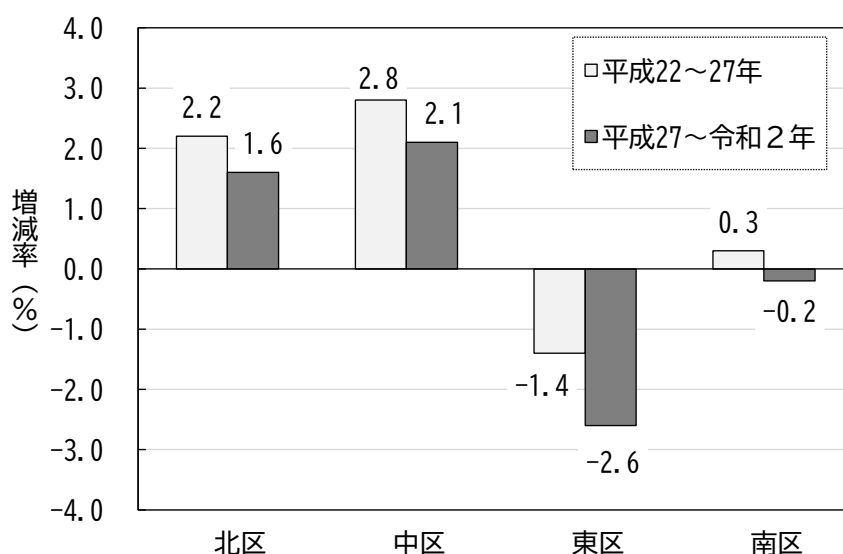
行政区	人口(人)					平成27～令和2年		平成22～27年	
	令和2年(2020)			平成27年(2015)	平成22年(2010)	増減数(人)	増減率(%)	増減数(人)	増減率(%)
	総数	男	女	総数	総数				
岡山市	724,691	348,630	376,061	719,474	709,584	5,217	0.7	9,890	1.4
北区	314,523	153,478	161,045	309,484	302,685	5,039	1.6	6,799	2.2
中区	149,232	70,139	79,093	146,232	142,237	3,000	2.1	3,995	2.8
東区	93,108	44,243	48,865	95,577	96,948	△ 2,469	△ 2.6	△ 1,371	△ 1.4
南区	167,828	80,770	87,058	168,181	167,714	△ 353	△ 0.2	467	0.3

注) 令和 2 年国勢調査時の市域への組替人口

中区は 2.1%の人口増、東区は 2.6%の人口減

人口増加率は、中区が 2.1%の増加で最も高く、次いで北区が 1.6%の増加となっている。一方で、東区は 2.6%、南区は 0.2%減少している。【表 3, 図 2】

図 2 行政区別人口増減率の推移 -岡山市、行政区(平成 22～令和 2 年)



2 年齢別人口

(1)市の年齢別人口

人口に占める 65 歳以上人口の割合は 24.7%から 26.4%に上昇

人口を年齢 3 区分別にみると、15 歳未満人口は平成 27 年調査で初めて 10 万人を割り、今回も 92,756 人となっている。また、15～64 歳人口は平成 17 年調査をピークに減少が続いており、令和 2 年は、ピークの平成 17 年よりも約 3 万 5 千人減少し、424,785 人となっている。65 歳以上人口は平成 27 年より 10,719 人増加し、185,732 人となっている。

総人口に占める割合を平成 27 年調査と比較してみると、15 歳未満人口は 13.7%から 13.2%へ 0.5 ポイント、15～64 歳人口は 61.5%から 60.4%に 1.1 ポイントそれぞれ低下しているのに対し、65 歳以上人口は 24.7%から 26.4%に 1.7 ポイント上昇している。【図 3, 表 4】

図 3 年齢 3 区分別人口の割合の推移 - 岡山市(昭和 55 年～令和 2 年)

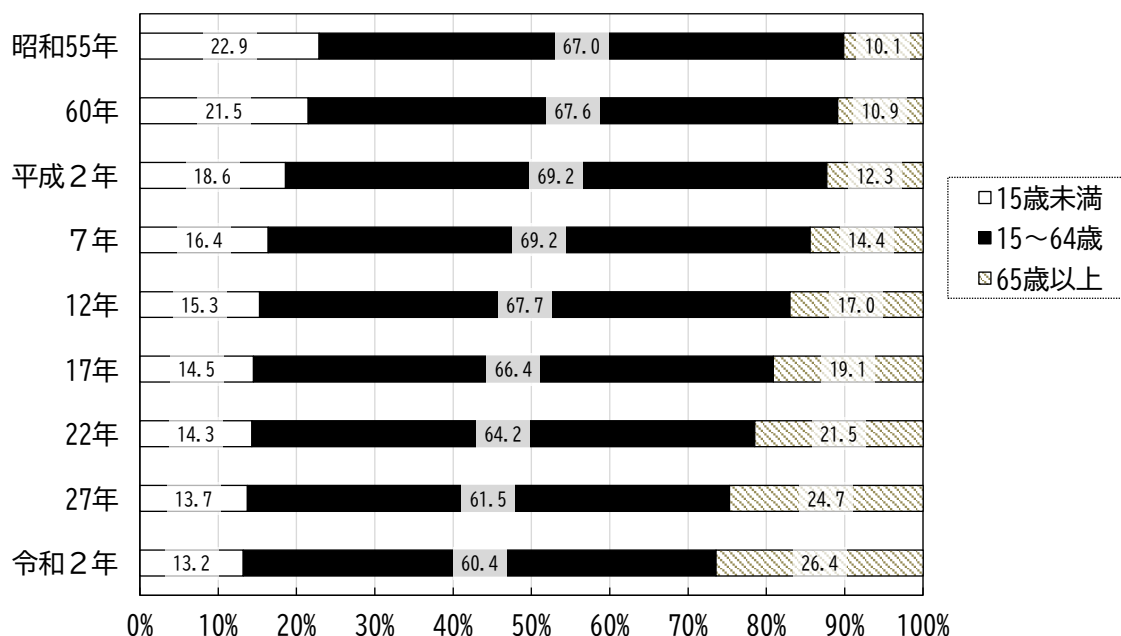


表 4 年齢 3 区分別人口及び割合の推移 - 岡山市(昭和 55 年～令和 2 年)

年次	人口(人) 1)			割合(%) 3)			
	総数 2)	15歳未満	15～64歳	65歳以上	15歳未満	15～64歳	65歳以上
昭和55年 (1990)	590,424	135,163	395,250	59,797	22.9	67.0	10.1
60 (1985)	618,950	133,081	418,298	67,368	21.5	67.6	10.9
平成2年 (1990)	640,406	118,696	442,613	78,469	18.6	69.2	12.3
7 (1995)	663,346	108,816	458,724	95,247	16.4	69.2	14.4
12 (2000)	674,375	103,078	456,485	114,670	15.3	67.7	17.0
17 (2005)	696,172	100,531	460,195	132,262	14.5	66.4	19.1
22 (2010)	709,584	100,175	450,108	151,140	14.3	64.2	21.5
27 (2015)	719,474	97,043	435,475	175,013	13.7	61.5	24.7
令和2年 (2020)	724,691	92,756	424,785	185,732	13.2	60.4	26.4

1) 令和 2 年国勢調査時の市域への組替人口

2) 総数には年齢「不詳」を含む。

3) 割合は年齢「不詳」を除いて算出。

15歳未満人口と15～64歳人口は減少が続き、65歳以上人口は5年で6.1%増加

年齢3区分別人口の増減数の推移をみると、15歳未満人口の減少数は、平成27年調査と比較して拡大しており、5年間で4,287人(4.4%)の減少となっている。

15～64歳人口は、平成27年調査では、平成22年調査からの5年間で減少数、減少率ともに拡大していたが、令和2年調査では、平成27年調査からの5年間で減少数、減少率ともにやや縮小し、10,690人(2.5%)の減少となっている。

65歳以上人口は、平成27年調査と比較すると増加数、増加率はともに縮小しているが、5年間で10,719人(6.1%)の増加となっている。【図4、表5】

図4 年齢3区分別人口の増減率の推移 - 岡山市(昭和55年～令和2年)

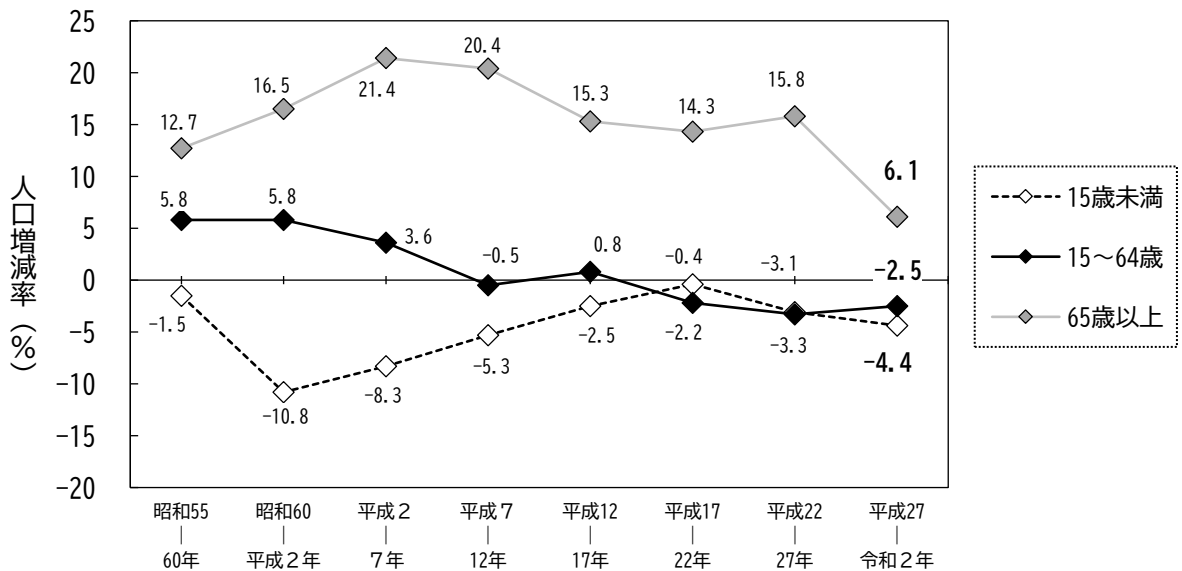


表5 年齢3区分別人口の増減数及び増減率の推移 - 岡山市(昭和55年～令和2年)

年次	総数 2)	人口増減数(人) 1)			人口増減率(%)		
		15歳未満	15～64歳	65歳以上	15歳未満	15～64歳	65歳以上
昭和55～60年	28,526	△ 2,082	23,048	7,571	△ 1.5	5.8	12.7
昭和60～平成2年	21,456	△ 14,385	24,315	11,101	△ 10.8	5.8	16.5
平成2～7年	22,940	△ 9,880	16,111	16,778	△ 8.3	3.6	21.4
7～12年	11,029	△ 5,738	△ 2,239	19,423	△ 5.3	△ 0.5	20.4
12～17年	21,797	△ 2,547	3,710	17,592	△ 2.5	0.8	15.3
17～22年	13,412	△ 356	△ 10,087	18,878	△ 0.4	△ 2.2	14.3
22～27年	9,890	△ 3,132	△ 14,633	23,873	△ 3.1	△ 3.3	15.8
平成27～令和2年	5,217	△ 4,287	△ 10,690	10,719	△ 4.4	△ 2.5	6.1

1) 令和2年国勢調査時の市域への組替人口による。

2) 総数には年齢「不詳」を含む。

15歳未満人口の割合は21大都市の中で4番目、15～64歳人口の割合は14番目

21大都市の中では、岡山市は、15歳未満人口の割合は熊本市(13.8%)、広島市(13.6%)、福岡市(13.4%)に次いで4番目に高い。また、15～64歳人口の割合は14番目、65歳以上人口の割合は中位の11番目となっている。【表6】

表6 21大都市の年齢3区分別人口の割合 - 岡山市(令和2年)

15歳未満人口割合(%)		15～64歳人口割合(%)		65歳以上人口割合(%)				
1	熊本市	13.8	1	東京都区部	67.2	1	北九州市	31.8
2	広島市	13.6	2	川崎市	67.1	2	静岡市	30.7
3	福岡市	13.4	3	福岡市	64.5	3	新潟市	29.9
4	岡山市	13.2	4	仙台市	63.6	4	神戸市	29.2
5	さいたま市	13.0	5	大阪市	63.5	5	堺市	28.9
6	浜松市	13.0	6	さいたま市	63.4	6	浜松市	28.3
7	川崎市	12.7	7	横浜市	63.0	7	京都市	28.3
8	堺市	12.7	8	名古屋市	62.3	8	札幌市	27.9
9	名古屋市	12.4	9	相模原市	61.9	9	千葉市	26.9
10	北九州市	12.2	10	千葉市	61.2	10	熊本市	26.6
11	仙台市	12.2	11	札幌市	61.0	11	岡山市	26.4
12	横浜市	12.0	12	京都市	60.7	12	相模原市	26.3
13	神戸市	11.9	13	広島市	60.6	13	広島市	25.8
14	千葉市	11.9	14	岡山市	60.4	14	大阪市	25.5
15	新潟市	11.8	15	熊本市	59.7	15	名古屋市	25.4
16	相模原市	11.7	16	神戸市	58.8	16	横浜市	25.0
17	静岡市	11.4	17	浜松市	58.7	17	仙台市	24.3
18	東京都区部	11.3	18	堺市	58.5	18	さいたま市	23.6
19	札幌市	11.1	19	新潟市	58.3	19	福岡市	22.1
20	京都市	11.0	20	静岡市	57.9	20	東京都区部	21.5
21	大阪市	11.0	21	北九州市	56.0	21	川崎市	20.2

注) 年齢「不詳」を除いて算出。

(2) 行政区、年齢別人口

年齢別人口の割合は、15歳未満は中区、15～64歳は北区、65歳以上は東区が最も高い

年齢3区分別人口の割合を行政区別にみると、15歳未満人口の割合は中区が14.4%と最も高く、東区が11.9%で最も低くなっている。15～64歳人口の割合は、北区が62.5%で最も高く、東区が56.9%で最も低くなっている。65歳以上人口の割合は、東区が31.2%で最も高く、北区が24.7%と最も低くなっている。【図5、表7】

年齢3区分別人口では、15歳未満人口と15～64歳人口が全ての区で減少しており、増減率を行政区別にみると、15歳未満人口は、東区が最も減少(△12.8%)しており、次いで南区(△6.4%)となっている。15～64歳人口についても、東区が最も減少(△5.4%)しており、次いで南区(△3.3%)となっている。

一方、65歳以上人口は、全ての区で増加しており、中区が最も増加(8.7%)しており、次いで南区(8.1%)、北区(4.5%)となっている。東区は、65歳以上人口の年齢別割合が最も高いが、増加率は3.9%と最も低い。【図6、表8】

図5 行政区、年齢3区分別人口の割合 - 岡山市、行政区(令和2年)

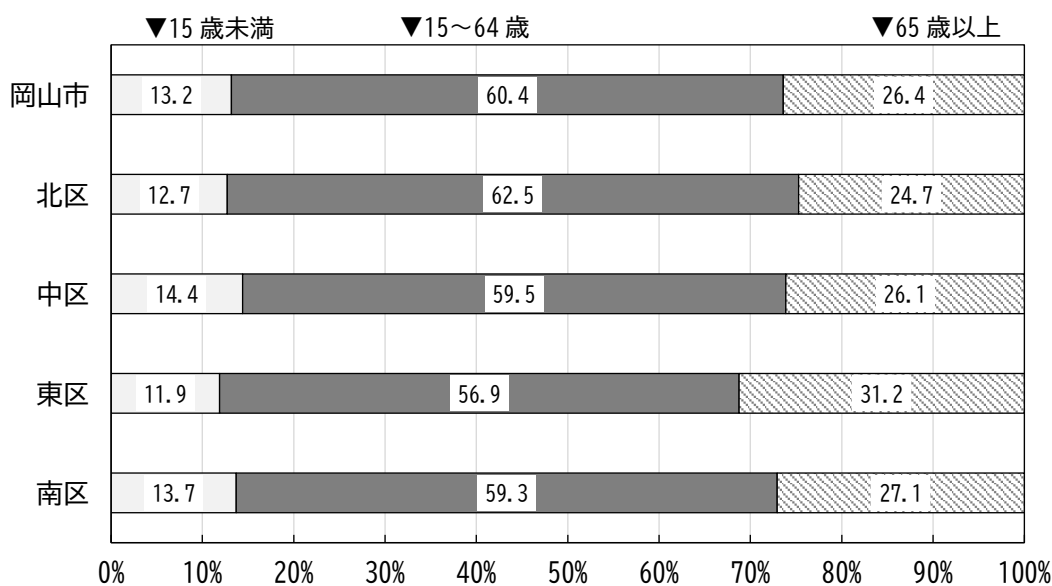


表7 行政区、年齢3区分別人口 - 岡山市、行政区(令和2年)

行政区	年齢別人口(人)			割合(%) 2)			
	総数 1)	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上
岡山市	724,691	92,756	424,785	185,732	13.2	60.4	26.4
北区	314,523	38,193	187,763	74,229	12.7	62.5	24.7
中区	149,232	21,064	87,075	38,220	14.4	59.5	26.1
東区	93,108	10,893	52,132	28,622	11.9	56.9	31.2
南区	167,828	22,606	97,815	44,661	13.7	59.3	27.1

1) 総数には年齢「不詳」を含む。

2) 割合は年齢「不詳」を除いて算出。

図6 行政区、年齢3区分別人口増減率 -岡山市、行政区(平成27年~令和2年)

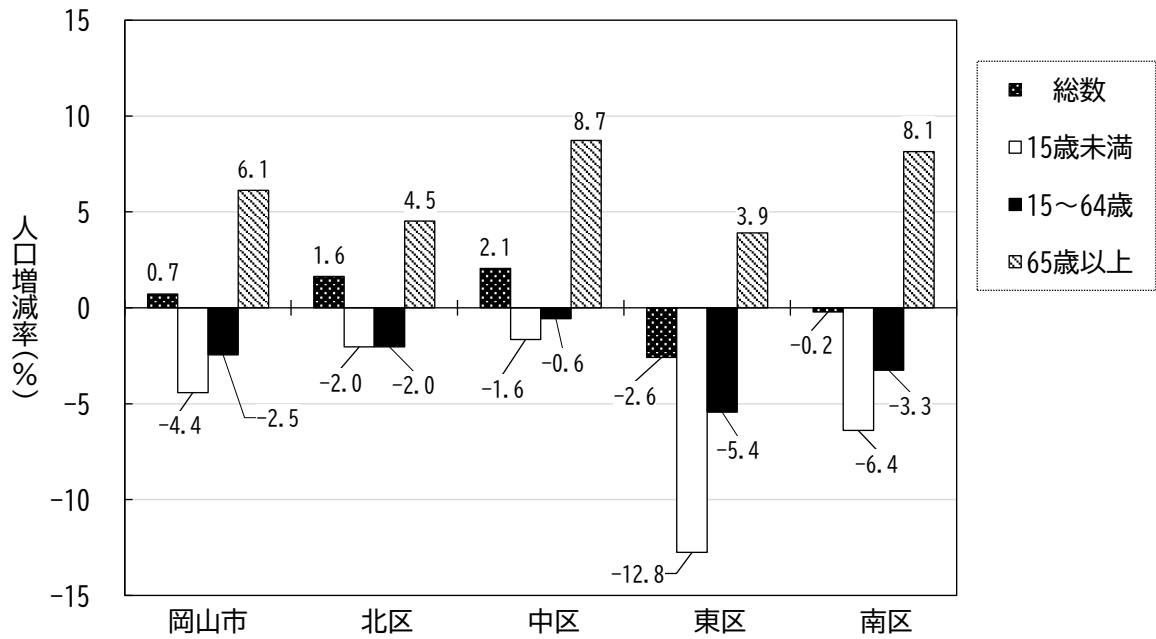


表8 行政区、年齢3区分別人口の増減 -岡山市、行政区(平成27年~令和2年)

行政区	増減数 平成27年~令和2年(人)				増減率(%)			
	総数 1)	15歳未満	15~64歳	65歳以上	総数	15歳未満	15~64歳	65歳以上
岡山市	5,217	△ 4,287	△ 10,690	10,719	0.7	△ 4.4	△ 2.5	6.1
北区	5,039	△ 795	△ 3,907	3,209	1.6	△ 2.0	△ 2.0	4.5
中区	3,000	△ 353	△ 492	3,069	2.1	△ 1.6	△ 0.6	8.7
東区	△ 2,469	△ 1,593	△ 3,004	1,077	△ 2.6	△ 12.8	△ 5.4	3.9
南区	△ 353	△ 1,546	△ 3,287	3,364	△ 0.2	△ 6.4	△ 3.3	8.1

1) 総数には年齢「不詳」を含む。

3 配偶関係別人口

未婚の割合は全国平均と比べて男性は同じ、女性は1.6ポイント高い

男女別15歳以上人口を配偶関係別にみると、男性は、未婚が88,174人(15歳以上男性の31.9%)、有配偶が168,336人(同60.9%)などとなっている。一方、女性は、未婚が77,576人(15歳以上女性の25.0%)、有配偶が169,832人(同54.8%)などとなっている。

全国と比較すると、岡山市の男性の未婚の割合は同じ、女性の未婚の割合は全国平均より1.6ポイント高い。【表9】

表9 配偶関係、男女別15歳以上人口 -岡山市(令和2年)

性別	15歳以上人口(人)						配偶関係別割合(%) 1), 2)			
	総数	未婚	有配偶	死別	離別	配偶関係「不詳」	未婚	有配偶	死別	離別
総数	610,517	165,750	338,168	47,945	34,379	24,275	28.3 (27.5)	57.7 (58.3)	8.2 (8.8)	5.9 (5.4)
男	289,511	88,174	168,336	7,668	12,061	13,272	31.9 (31.9)	60.9 (60.8)	2.8 (3.2)	4.4 (4.1)
女	321,006	77,576	169,832	40,277	22,318	11,003	25.0 (23.4)	54.8 (56.1)	13.0 (13.9)	7.2 (6.6)

1)割合は、配偶関係「不詳」を除いて算出。

2) () は全国の割合。

未婚率は、男女ともに若い世代(20~24歳、25歳~29歳)で若干減少

平成27年と令和2年の未婚率の割合を男女5歳階級別にみると、男性の20~24歳、25~29歳、30~34歳、40~44歳、女性の20~24歳、25~29歳で若干減少している。

最も未婚率が上昇したのは、男女ともに50~54歳で、男性は18.4%から21.6%に3.2ポイント増、女性では11.8%から15.1%に3.3ポイント増となっている。【図7,表10】

図7 男女、年齢5歳階級別未婚率の推移 -岡山市(平成2年~令和2年)

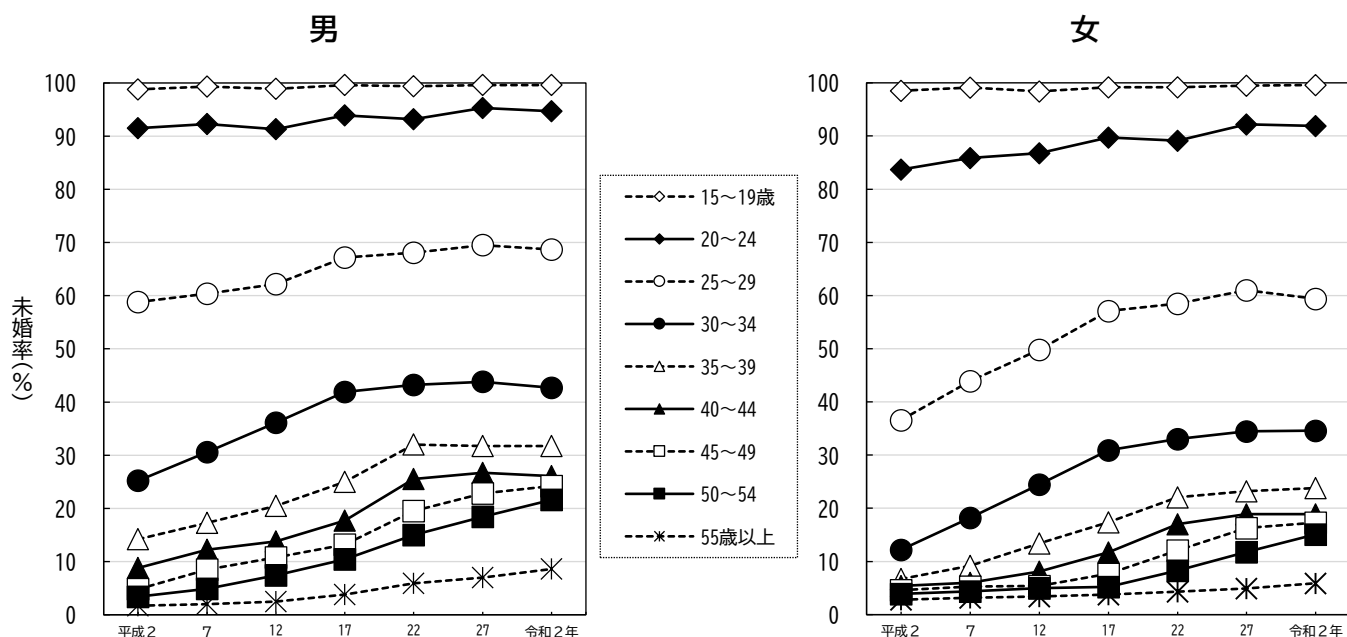


表 10 男女、年齢5歳階級別未婚率の推移 -岡山市(昭和55年~令和2年)

性別 年齢	未婚率(%)								
	昭和55年	60年	平成2年	7年	12年	17年	22年	27年	令和2年
男									
15~19歳	99.4	99.3	98.8	99.3	98.9	99.6	99.4	99.6	99.6
20~24	89.9	90.5	91.5	92.3	91.3	93.9	93.2	95.3	94.7
25~29	48.6	52.8	58.8	60.4	62.2	67.2	68.1	69.5	68.7
30~34	16.1	21.0	25.2	30.6	36.1	41.9	43.2	43.8	42.7
35~39	6.1	10.4	14.2	17.3	20.5	25.0	32.0	31.7	31.7
40~44	3.6	5.4	8.8	12.2	13.8	17.7	25.5	26.7	26.1
45~49	2.5	3.5	4.8	8.5	10.8	13.2	19.5	22.8	24.2
50~54	1.9	2.6	3.4	4.9	7.4	10.4	15.0	18.4	21.6
55歳以上	1.0	1.3	1.7	2.0	2.5	3.8	5.9	7.1	8.6
女									
15~19歳	98.9	98.6	98.5	99.1	98.4	99.2	99.2	99.5	99.6
20~24	76.2	79.6	83.7	85.9	86.8	89.7	89.1	92.2	91.9
25~29	20.3	26.1	36.6	43.9	49.8	57.1	58.5	61.0	59.4
30~34	8.0	8.9	12.2	18.2	24.5	30.9	33.0	34.5	34.6
35~39	5.2	6.2	6.7	9.2	13.4	17.4	22.1	23.2	23.8
40~44	4.2	4.7	5.4	6.0	8.1	11.7	17.0	18.9	18.9
45~49	4.1	4.1	4.6	5.3	5.4	7.7	12.1	16.3	17.3
50~54	3.9	4.1	3.9	4.4	5.0	5.2	8.3	11.8	15.1
55歳以上	1.8	2.3	2.8	3.2	3.4	3.8	4.3	4.9	5.9

注)未婚率は、配偶関係「不詳」を除いて算出。

4 外国人人口

外国人人口は平成 27 年に比べ 40.6%増加

外国人人口は平成 27 年調査では増加基調から減少に転じたが、令和 2 年調査では平成 27 年調査の 8,425 人から 3,419 人、40.6%増加し、11,844 人となっている。外国人人口を国籍別にみると、中国が 3,659 人(外国人人口の 30.9%)と最も多く、次いでベトナムが 3,082 人(同 26.0%)、韓国・朝鮮が 2,125 人(17.9%)、フィリピンが 579 人(同 4.9%)などとなっている。

外国人人口を行政区別にみると、北区が 6,307 人、中区が 2,072 人、南区が 2,045 人、東区が 1,420 人で、北区が 53.3%と半数以上を占めている。【表 11～13, 図 8】

表 11 男女別外国人人口の推移 -岡山市(昭和 55 年～令和 2 年)

性別	外国人人口(人)								
	昭和55年	60年	平成2年	7年	12年	17年	22年	27年	令和2年
総数	3,425	3,613	4,077	5,112	5,687	6,465	8,848	8,425	11,844
男	1,724	1,831	1,987	2,441	2,675	2,894	4,054	3,819	6,106
女	1,701	1,782	2,090	2,671	3,012	3,571	4,794	4,606	5,738

※無国籍及び国名「不詳」の者を含む。

図 8 国籍別外国人人口の割合 -岡山市(令和 2 年)

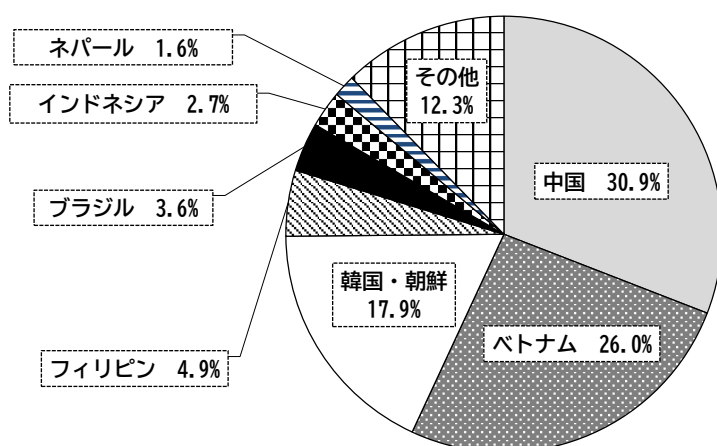


表 12 国籍別外国人人口 -岡山市(令和 2 年)

区分	外国人人口(人)								
	総数	中国	ベトナム	韓国・朝鮮	フィリピン	ブラジル	インドネシア	ネパール	その他
人口	11,844	3,659	3,082	2,125	579	430	321	193	1,455
割合(%)	100	30.9	26.0	17.9	4.9	3.6	2.7	1.6	12.3

※その他には無国籍及び国名「不詳」の者を含む。

表 13 行政区別外国人人口 -岡山市(令和 2 年)

性別	外国人人口(人)				
	岡山市	北区	中区	東区	南区
総数	11,844	6,307	2,072	1,420	2,045
男	6,106	3,383	1,064	662	997
女	5,738	2,924	1,008	758	1,048

5 世帯の状況

(1) 世帯数と世帯規模

【市】

一般世帯数は 326,986 世帯で 1 世帯当たり人員は引き続き減少し 2.16 人

令和 2 年 10 月 1 日現在の岡山市の世帯数は 327,620 世帯で、平成 27 年に比べ 18,211 世帯の増加となっている。世帯の種類別にみると、一般世帯は 326,986 世帯、一般世帯人員は 706,671 人となっている。また、施設等の世帯数は 634 世帯で、施設等の世帯人員は 18,020 人となっている。

一般世帯における 1 世帯当たり人員の推移をみると、世帯数の増加率が世帯人員の増加率より高いことから、1 世帯当たり人員は減少し続けており、令和 2 年では 2.16 人となっている。【図 9, 表 14】

図 9 一般世帯数及び一般世帯の 1 世帯当たり人員の推移 - 岡山市(平成 2 年～令和 2 年)

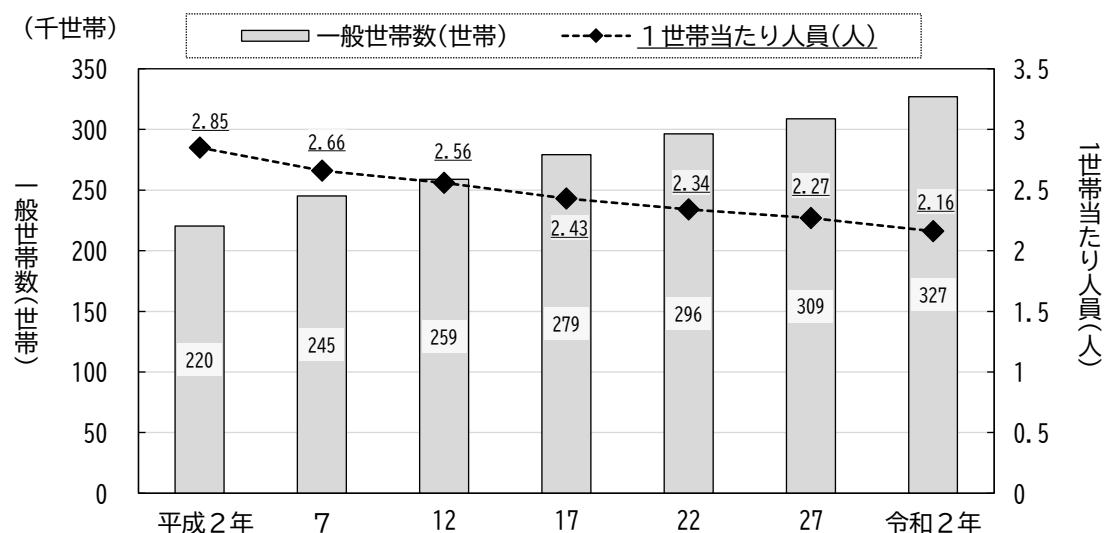


表 14 世帯数、世帯人員及び 1 世帯当たり人員の推移 - 岡山市(平成 2 年～令和 2 年)

年次	総世帯		一般世帯			施設等の世帯	
	世帯数(世帯)	世帯人員(人)	世帯数(世帯)	世帯人員(人)	1 世帯当たり人員(人)	世帯数(世帯)	世帯人員(人)
平成 2 年	221,192	640,406	220,292	628,152	2.85	327	11,238
7	246,101	663,346	245,264	651,730	2.66	334	10,621
12	259,350	674,375	258,878	661,512	2.56	362	12,106
17	282,834	696,172	279,308	678,124	2.43	416	14,447
22	296,790	709,584	296,290	693,347	2.34	500	16,237
27	309,409	719,474	308,807	701,892	2.27	602	17,582
令和 2 年	327,620	724,691	326,986	706,671	2.16	634	18,020

【行政区】

1世帯当たり人員が最も多いのは東区で2.42人、最も少ないのは北区で1.97人

一般世帯を行政区別にみると、北区が154,998世帯で市全体の世帯数の47.3%を占めている。次に南区の69,170世帯、中区の65,426世帯、東区の37,392世帯となっている。

1世帯当たり人員では、最も多いのが東区で1世帯当たり2.42人、最も少ないのが北区の1世帯当たり1.97人となっている。【表15】

表15 行政区別世帯数、世帯人員及び1世帯当たり人員 -岡山市、行政区(令和2年)

行政区	総世帯		一般世帯			施設等の世帯	
	世帯数(世帯)	世帯人員(人)	世帯数(世帯)	世帯人員(人)	1世帯当たり人員(人)	世帯数(世帯)	世帯人員(人)
岡山市	327,620	724,691	326,986	706,671	2.16	634	18,020
北区	155,323	314,523	154,998	305,762	1.97	325	8,761
中区	65,547	149,232	65,426	146,110	2.23	121	3,122
東区	37,471	93,108	37,392	90,422	2.42	79	2,686
南区	69,279	167,828	69,170	164,377	2.38	109	3,451

北区、中区、南区では1人世帯が最も多く、東区では世帯員2人の世帯が最も多い

一般世帯数について、世帯人員別にみると、市全体では世帯員1人の世帯が41.1%と最も多く、次いで2人の世帯(26.1%)、3人の世帯(15.7%)、4人の世帯(11.9%)となっている。

これを行政区別にみると、北区では最も割合が高いのは世帯員1人の世帯で、49.8%と半数近くを占め、中区及び南区でも世帯員1人の世帯の割合(中区37.0%、南区31.7%)が最も高いが、東区では、世帯員2人の世帯の割合(30.7%)が最も高くなっている。【図10,表16】

図10 行政区、世帯人員別一般世帯数の割合 -岡山市、行政区(令和2年)

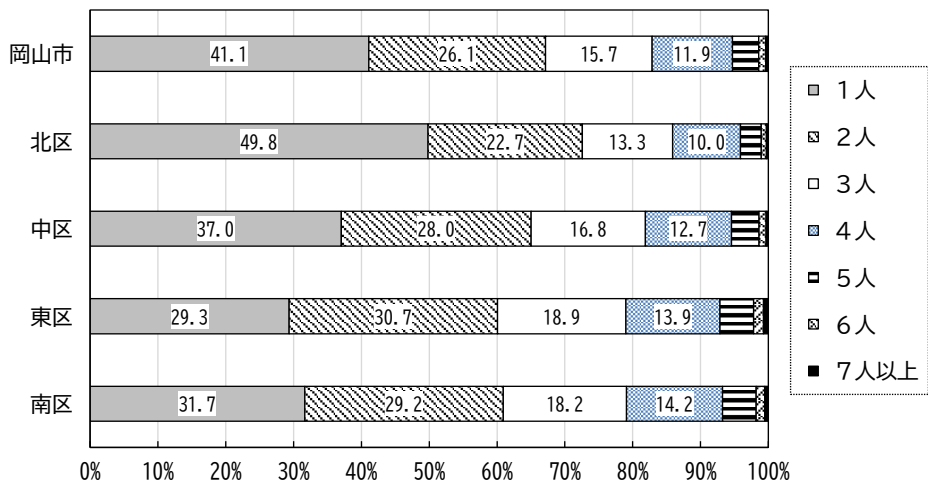


表 16 行政区、世帯人員別一般世帯数 -岡山市、行政区(令和 2 年)

世帯人員	一般世帯数 (世帯)					世帯人員別割合 (%)				
	岡山市	北区	中区	東区	南区	岡山市	北区	中区	東区	南区
総数	326,986	154,998	65,426	37,392	69,170	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1人	134,334	77,230	24,234	10,974	21,896	41.1	49.8	37.0	29.3	31.7
2人	85,286	35,257	18,305	11,493	20,231	26.1	22.7	28.0	30.7	29.2
3人	51,285	20,623	11,023	7,063	12,576	15.7	13.3	16.8	18.9	18.2
4人	38,855	15,533	8,322	5,201	9,799	11.9	10.0	12.7	13.9	14.2
5人	12,625	4,709	2,649	1,851	3,416	3.9	3.0	4.0	5.0	4.9
6人	3,301	1,196	667	544	894	1.0	0.8	1.0	1.5	1.3
7人以上	1,300	450	226	266	358	0.4	0.3	0.3	0.7	0.5

(2)世帯の家族類型

【市】

単独世帯は5年間で14.8%増加し134,334世帯、一般世帯の41.1%を占める

一般世帯数を世帯の家族類型別にみると、単独世帯が134,334世帯(一般世帯の41.1%)、夫婦と子供から成る世帯が80,979世帯(同24.8%)、夫婦のみの世帯60,819世帯(同18.6%)、ひとり親と子供から成る世帯27,738世帯(同8.5%)などとなっている。

平成27年と比べると、単独世帯は17,319世帯、14.8%増加しており、一般世帯に占める割合も37.9%から41.1%へと3.2ポイント増加している。【図11、表17】

図11 世帯の家族類型別一般世帯の割合の推移 -岡山市(平成27年~令和2年)

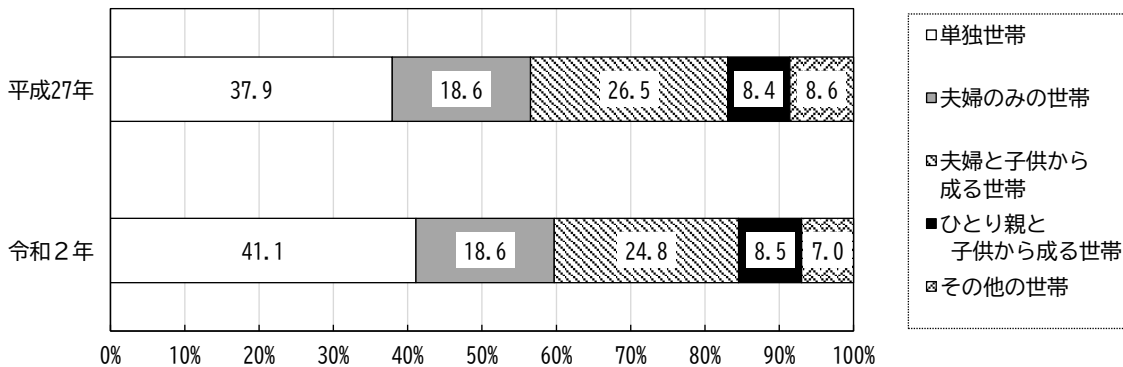


表17 世帯の家族類型別一般世帯数の推移 -岡山市(平成27年~令和2年)

世帯の家族類型	一般世帯数(世帯)		家族類型別割合(%) 2)		平成27~令和2年	
	令和2年	平成27年	令和2年	平成27年	増加数	増加率
総数 1)	326,986	308,807	100.0	100.0	18,179	5.9
単独世帯	134,334	117,015	41.1	37.9	17,319	14.8
核家族世帯	169,536	165,013	51.8	53.4	4,523	2.7
夫婦のみの世帯	60,819	57,384	18.6	18.6	3,435	6.0
夫婦と子供から成る世帯	80,979	81,820	24.8	26.5	△ 841	△ 1.0
ひとり親と子供から成る世帯	27,738	25,809	8.5	8.4	1,929	7.5
その他の世帯	22,812	26,454	7.0	8.6	△ 3,642	△ 13.8

1) 総数には世帯の家族類型「不詳」を含む。

2) 割合は世帯の家族類型「不詳」を除いて算出。

【行政区】

全ての区において、単独世帯の割合が最も高い

世帯の家族類型を行政区別にみると、全ての区で単独世帯の割合が最も高く、特に北区は半数近く(49.8%)を占めている。次いで、中区(37.0%)、南区(31.7%)、東区(29.3%)の順となっている。【図 12, 表 18】

図 12 行政区、世帯の家族類型別一般世帯の割合 - 岡山市、行政区(令和 2 年)

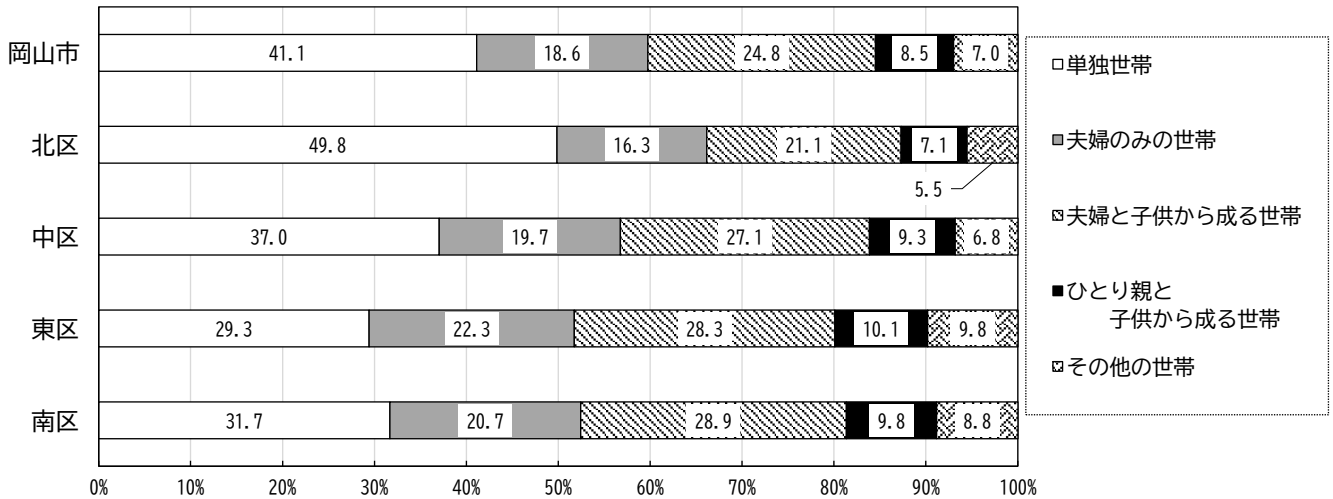


表 18 行政区、世帯の家族類型別一般世帯数 - 岡山市、行政区(令和 2 年)

世帯の家族類型	一般世帯数(世帯)					家族類型別割合(%) 2)				
	岡山市	北区	中区	東区	南区	岡山市	北区	中区	東区	南区
総数 1)	326,986	154,998	65,426	37,392	69,170	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
単独世帯	134,334	77,230	24,234	10,974	21,896	41.1	49.8	37.0	29.3	31.7
核家族世帯	169,536	69,065	36,707	22,664	41,100	51.8	44.6	56.1	60.6	59.4
夫婦のみの世帯	60,819	25,261	12,890	8,332	14,336	18.6	16.3	19.7	22.3	20.7
夫婦と子供から成る世帯	80,979	32,723	17,707	10,567	19,982	24.8	21.1	27.1	28.3	28.9
ひとり親と子供から成る世帯	27,738	11,081	6,110	3,765	6,782	8.5	7.1	9.3	10.1	9.8
その他の世帯	22,812	8,580	4,455	3,664	6,113	7.0	5.5	6.8	9.8	8.8

1) 総数には世帯の家族類型「不詳」を含む。

2) 割合は世帯の家族類型「不詳」を除いて算出。

単独世帯の割合が最も高いのは、男性は20～24歳、女性は85歳以上

単独世帯の割合を、男女、5歳階級別にみると、男性は20～24歳が45.8%で最も高く、次いで25～29歳(34.6%)、30～34歳(21.7%)などとなっている。女性では85歳以上が36.5%で最も高く、次いで20～24歳(36.0%)、80～84歳(32.9%)などとなっている。【図13、表19】

図13 男女、年齢5歳階級別単独世帯の割合 -岡山市(令和2年)

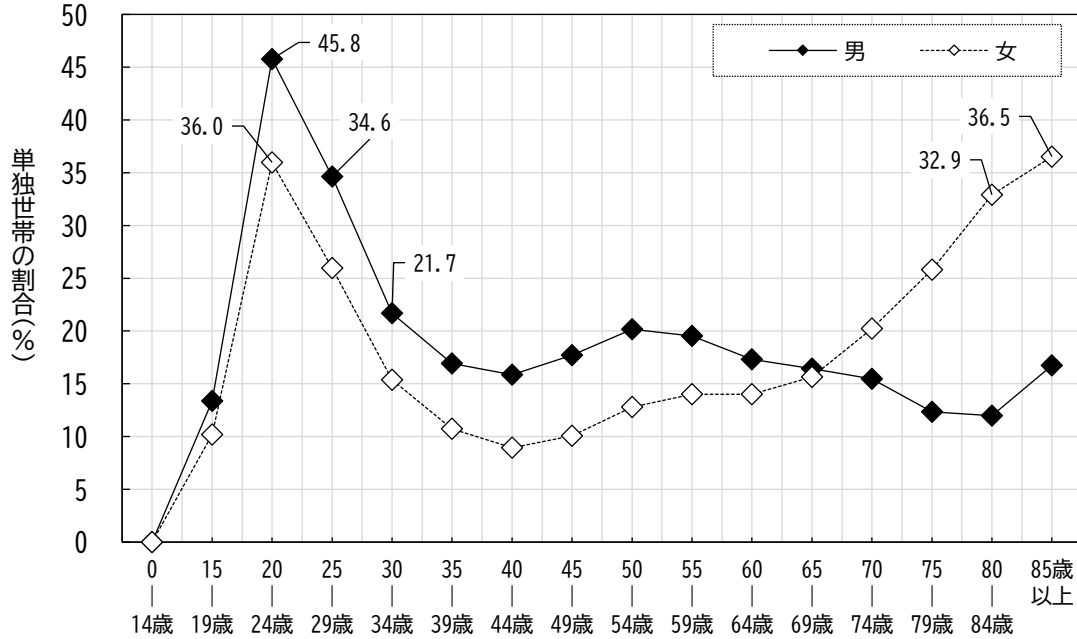


表19 男女、年齢5歳階級別一般世帯人員及び単独世帯人員 -岡山市(令和2年)

年齢	世帯人員 (人)				単独世帯人員の割合 (%) =b/a	
	男		女		男	女
	一般世帯 a	単独世帯 b	一般世帯 a	単独世帯 b		
総数	342,280	68,132	364,391	66,202	19.9	18.2
0～14歳	47,318	-	45,093	1	-	0.0
15～19歳	17,617	2,356	17,022	1,735	13.4	10.2
20～24歳	20,337	9,309	19,604	7,053	45.8	36.0
25～29歳	18,497	6,404	18,565	4,822	34.6	26.0
30～34歳	18,675	4,052	19,354	2,978	21.7	15.4
35～39歳	20,994	3,554	21,506	2,306	16.9	10.7
40～44歳	23,585	3,744	23,926	2,141	15.9	8.9
45～49歳	27,597	4,891	28,169	2,838	17.7	10.1
50～54歳	22,105	4,455	23,356	2,989	20.2	12.8
55～59歳	20,003	3,906	21,045	2,947	19.5	14.0
60～64歳	18,626	3,224	20,105	2,816	17.3	14.0
65～69歳	19,108	3,141	20,819	3,260	16.4	15.7
70～74歳	21,746	3,360	25,315	5,120	15.5	20.2
75～79歳	15,806	1,951	19,975	5,154	12.3	25.8
80～84歳	10,101	1,210	14,186	4,667	12.0	32.9
85歳以上	8,602	1,441	16,601	6,064	16.8	36.5

※総数には年齢「不詳」を含む。

(3) 65歳以上世帯員のいる世帯

【市】

65歳以上の世帯員のいる一般世帯は117,360世帯で、「65歳以上単独世帯」と「夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯」の割合が高まる

65歳以上の世帯員のいる一般世帯は117,360世帯で、一般世帯(326,986世帯)に占める割合は35.9%となっている。

このうち、65歳以上単独世帯は平成27年と比べると3,625人(11.4%)増加し、35,368世帯となり、一般世帯の10.8%を占めている。また、夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯は2,416人(7.5%)増加し34,812世帯となり、一般世帯の10.6%を占めている。

【図14,表20】

図14 世帯の家族類型別 65歳以上世帯員(親族)のいる一般世帯等の推移 -岡山市(平成7年~令和2年)

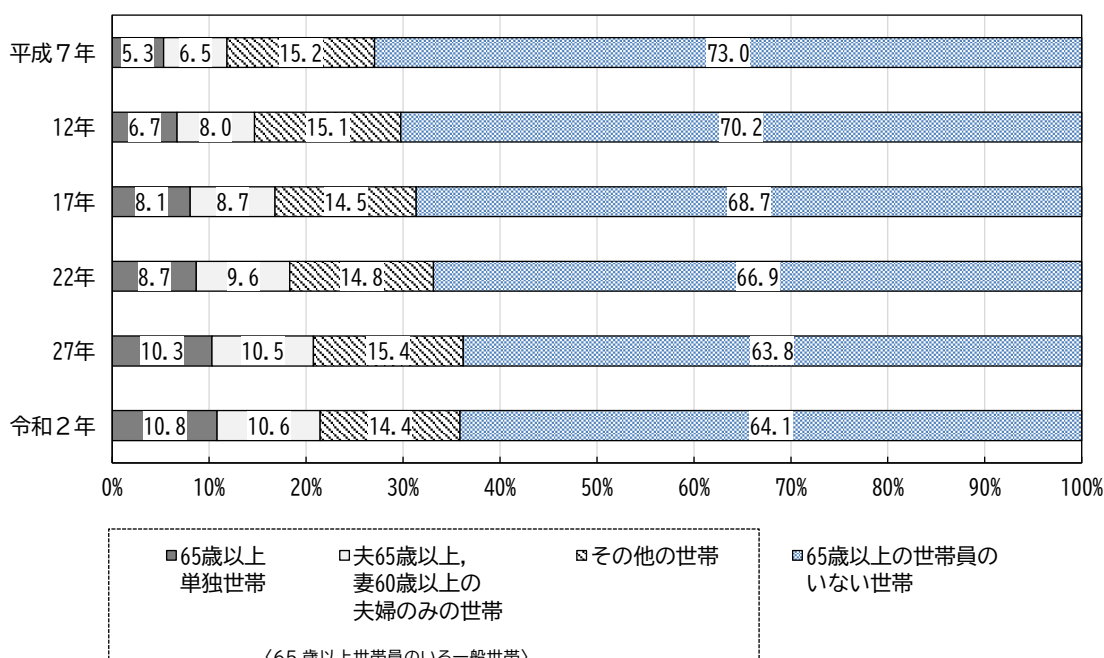


表20 世帯の家族類型別 65歳以上世帯員(親族)のいる一般世帯の推移 -岡山市(平成7年~令和2年)

年次	一般世帯(世帯)	65歳以上世帯員のいる一般世帯(世帯) 1)				一般世帯に対する割合(%) 2)			
		総数	うち単独世帯	うち夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯	その他の世帯	総数	うち単独世帯	うち夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯	その他の世帯
平成7年	245,264	66,333	13,025	16,011	37,297	27.0	5.3	6.5	15.2
12	258,878	77,045	17,283	20,704	39,058	29.8	6.7	8.0	15.1
17	279,308	87,549	22,493	24,436	40,620	31.3	8.1	8.7	14.5
22	296,290	98,172	25,740	28,511	43,921	33.1	8.7	9.6	14.8
27	308,807	111,832	31,743	32,396	47,693	36.2	10.3	10.5	15.4
令和2年	326,986	117,360	35,368	34,812	47,180	35.9	10.8	10.6	14.4

1) 平成17年までは、65歳以上親族のいる一般世帯

2) 割合は世帯の家族類型「不詳」を含んで算出。

【行政区】

「65歳以上単独世帯」の割合は中区が高く、「夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯」の割合は東区が高い

65歳以上世帯員のいる一般世帯の割合を行政区別にみると、最も高いのは東区(46.6%)で、次いで南区(40.8%)となっている。

65歳以上世帯員のいる一般世帯の内訳を行政区別にみると、65歳以上単独世帯の割合は中区(12.2%)で最も高く、夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯の割合は東区(14.6%)で最も高くなっている。【図15、表21】

図15 行政区、世帯の家族類型別65歳以上世帯員(親族)のいる一般世帯の割合 -岡山市、行政区(令和2年)

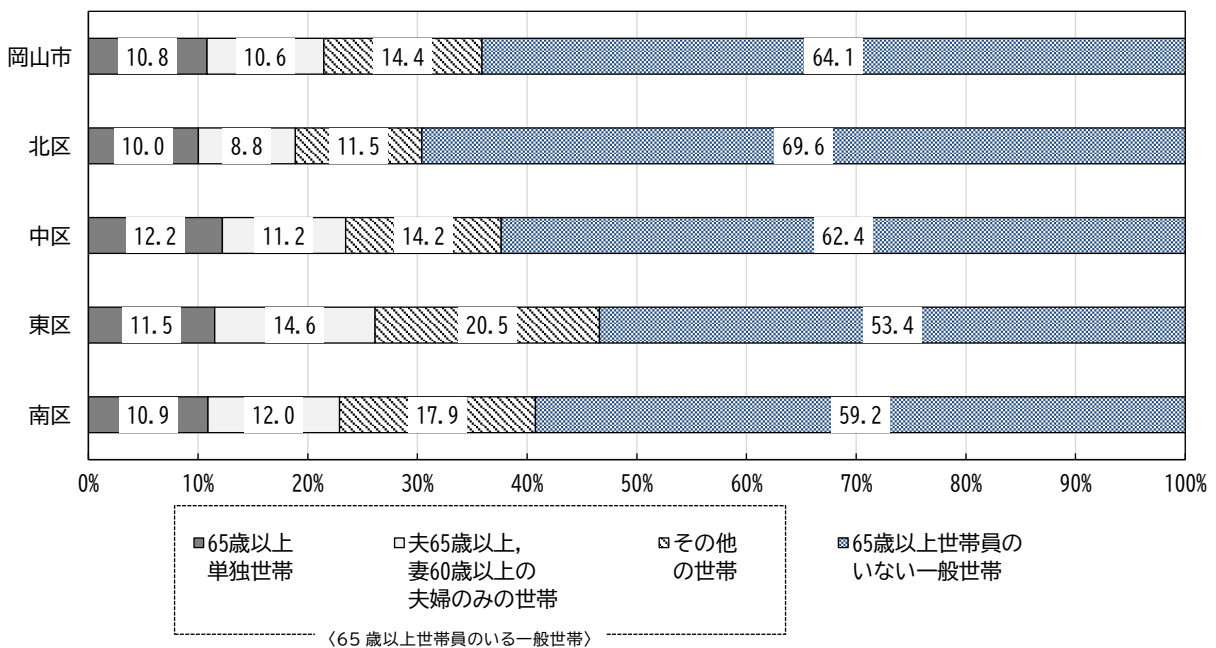


表21 行政区、世帯の家族類型別65歳以上世帯員(親族)のいる一般世帯数 -岡山市、行政区(令和2年)

行政区	一般世帯(世帯)	65歳以上世帯員のいる一般世帯(世帯)				一般世帯に対する割合(%) 1), 2)			
		総数	うち単独世帯	うち夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯	その他の世帯	総数	うち単独世帯	うち夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯	その他の世帯
岡山市	326,986	117,360	35,368	34,812	47,180	35.9	10.8 (30.1)	10.6 (29.7)	14.4 (40.2)
北区	154,998	47,112	15,539	13,698	17,875	30.3	10.0 (33.0)	8.8 (29.1)	11.5 (37.9)
中区	65,426	24,626	7,986	7,354	9,286	37.6	12.2 (32.4)	11.2 (29.9)	14.2 (37.7)
東区	37,392	17,427	4,311	5,463	7,653	46.6	11.5 (24.7)	14.6 (31.3)	20.5 (43.9)
南区	69,170	28,195	7,532	8,297	12,366	40.8	10.9 (26.7)	12.0 (29.4)	17.9 (43.9)

1) 割合は世帯の家族類型「不詳」を含んで算出。

2) 「一般世帯に対する割合」の下段()は「65歳以上世帯員のいる一般世帯」の総数に対する割合。

(4)母子世帯・父子世帯

母子世帯、父子世帯ともに減少

【母子世帯】

一般世帯のうち母子世帯は4,086世帯で、前回調査と比べると691世帯(14.5%)減少している。

子供の数別割合をみると、子供が1人の世帯は54.0%と最も高く、子供が2人の世帯は35.0%となっており、これらの世帯で全体の9割近くを占め、子供が3人以上の世帯は11.0%となっている。

最年少の子供の年齢別割合をみると、小学生の年齢に当たる6～11歳がいる世帯が32.4%と最も高く、次いで中学生の年齢に当たる12～14歳がいる世帯が20.3%、高校生の年齢に当たる15～17歳がいる世帯が19.6%となっている。【表22】

【父子世帯】

一般世帯のうち父子世帯は418世帯で、前回調査と比べると92世帯(18.0%)減少している。

子供の数別割合をみると、子供が1人の世帯は56.2%と最も高く、子供が2人の世帯は33.7%、子供が3人以上の世帯は10.0%となっている。

最年少の子供の年齢別割合をみると、小学生の年齢に当たる6～11歳がいる世帯が30.1%と最も高く、次いで高校生の年齢に当たる15～17歳がいる世帯が25.4%、中学生の年齢に当たる12～14歳がいる世帯が22.5%となっている。【表22】

表22 母子世帯数、父子世帯数の推移 ー岡山市(平成27年～令和2年)

区分	世帯数(世帯)		割合(%)		増減数(世帯)	増減率(%)
	令和2年	平成27年	令和2年	平成27年	平成27年～令和2年	平成27年～令和2年
一般世帯数	326,986	308,807	-	-	18,179	5.9
母 子 世 帯						
母子世帯総数	4,086	4,777	100.0	100.0	△ 691	△ 14.5
子供の数別母子世帯数						
1人	2,207	2,512	54.0	52.6	△ 305	△ 12.1
2人	1,431	1,726	35.0	36.1	△ 295	△ 17.1
3人以上	448	539	11.0	11.3	△ 91	△ 16.9
最年少の子供の年齢別母子世帯数						
6歳未満	718	871	17.6	18.2	△ 153	△ 17.6
6～11歳	1,325	1,533	32.4	32.1	△ 208	△ 13.6
12～14歳	828	944	20.3	19.8	△ 116	△ 12.3
15～17歳	801	1,020	19.6	21.4	△ 219	△ 21.5
18～19歳	414	409	10.1	8.5	5	1.2
父 子 世 帯						
父子世帯数	418	510	100.0	100.0	△ 92	△ 18.0
子供の数別父子世帯数						
1人	235	301	56.2	59.0	△ 66	△ 21.9
2人	141	163	33.7	32.0	△ 22	△ 13.5
3人以上	42	46	10.0	9.0	△ 4	△ 8.7
最年少の子供の年齢別父子世帯数						
6歳未満	32	46	7.7	9.0	△ 14	△ 30.4
6～11歳	126	135	30.1	26.5	△ 9	△ 6.7
12～14歳	94	114	22.5	22.3	△ 20	△ 17.5
15～17歳	106	134	25.4	26.3	△ 28	△ 20.9
18～19歳	60	81	14.4	15.9	△ 21	△ 25.9

6 住居の状況

(1)住宅の建て方

【市】

共同住宅に住む一般世帯は5年間で12.1%増加

住宅に住む一般世帯は323,841世帯で、平成27年に比べ19,088世帯増加している。また、住宅に住む一般世帯の世帯人員は702,304人で、平成27年に比べ6,553人増加している。

住宅に住む一般世帯を住宅の建て方別にみると、一戸建てが173,255世帯(住宅に住む一般世帯の53.5%)と最も多く、次いで共同住宅が145,324世帯(同44.9%)などとなっている。

これを平成27年と比較すると、一戸建ては4,582世帯(2.7%)、共同住宅は15,664世帯(12.1%)増加している。共同住宅に住む一般世帯の増加数は、住宅に住む一般世帯の増加総数(19,088世帯)の82.1%を占めている。長屋建は、845世帯減少している。【図16、表23】

図16 住宅の建て方別住宅に住む一般世帯の割合 -岡山市(平成27年~令和2年)

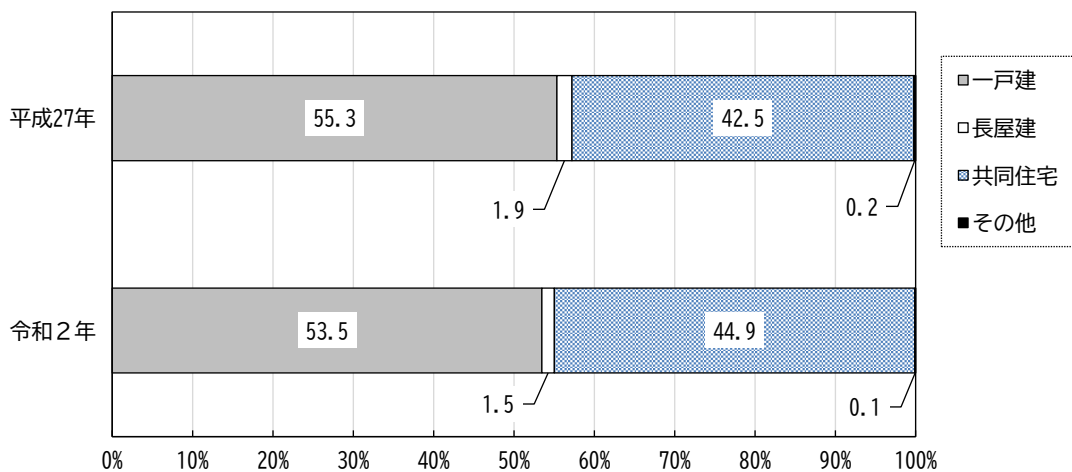


表23 住宅の建て方別住宅に住む一般世帯数及び世帯人員 -岡山市(平成27年~令和2年)

年次	住宅に住む一般世帯(世帯)					住宅に住む一般世帯人員(人)	住宅の建て方別割合(%)			
	総数	一戸建	長屋建	共同住宅	その他		一戸建	長屋建	共同住宅	その他
平成27年	304,753	168,673	5,764	129,660	656	695,751	55.3	1.9	42.5	0.2
令和2年	323,841	173,255	4,919	145,324	343	702,304	53.5	1.5	44.9	0.1
増減数	19,088	4,582	△ 845	15,664	△ 313	6,553				
増減率(%)	6.3	2.7	△ 14.7	12.1	△ 47.7	0.9				

注)総数には、住宅の建て方「不詳」を含む。

【行政区】

東区は一戸建てが4分の3以上、北区は共同住宅が半数以上

住宅の建て方を行政区別にみると、東区は、一戸建ての割合が77.0%で4区の中で最も高く、一方で、共同住宅の割合は21.7%で4区の中で最も低い。北区は、共同住宅の割合が57.9%で4区の中で唯一半数を超え、一戸建ての割合は40.9%で4区の中で唯一半数を割っている。

【図 17, 表 24】

図 17 行政区、住宅の建て方別住宅に住む一般世帯の割合 -岡山市、行政区(令和2年)

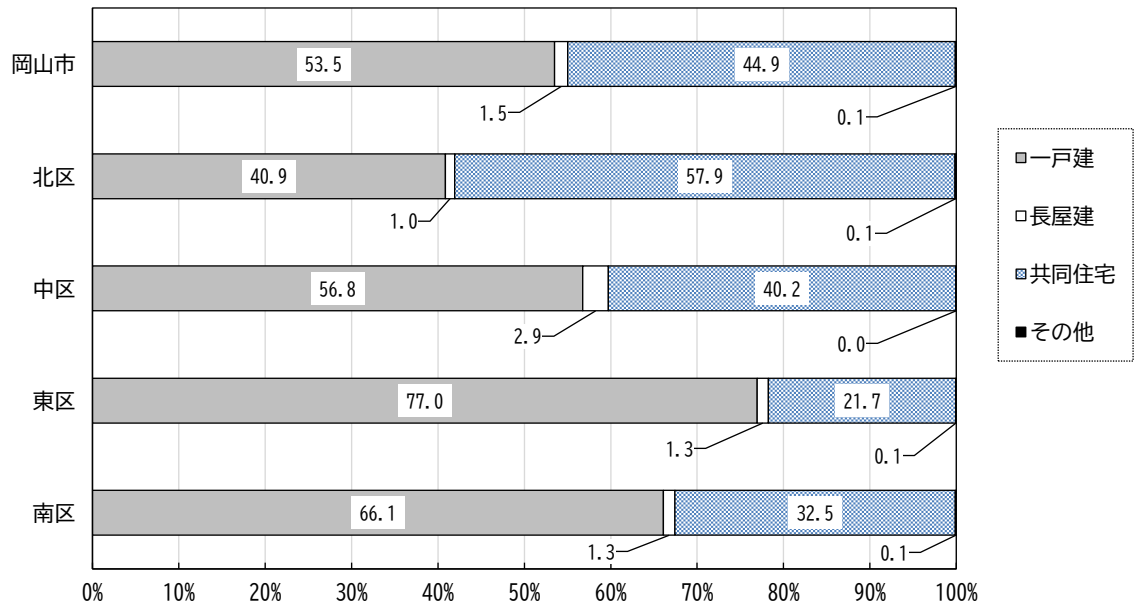


表 24 行政区、住宅の建て方別住宅に住む一般世帯数 -岡山市、行政区(平成27年~令和2年)

年次	行政区	住宅に住む一般世帯(世帯)					住宅の建て方別割合(%)			
		総数	一戸建	長屋建	共同住宅	その他	一戸建	長屋建	共同住宅	その他
令和2年	岡山市	323,841	173,255	4,919	145,324	343	53.5	1.5	44.9	0.1
	北区	153,586	62,772	1,604	88,996	214	40.9	1.0	57.9	0.1
	中区	64,949	36,874	1,913	26,131	31	56.8	2.9	40.2	0.0
	東区	36,933	28,420	485	8,002	26	77.0	1.3	21.7	0.1
	南区	68,373	45,189	917	22,195	72	66.1	1.3	32.5	0.1
平成27年	岡山市	304,753	168,673	5,764	129,660	656	55.3	1.9	42.5	0.2
	北区	143,681	61,873	2,340	79,084	384	43.1	1.6	55.0	0.3
	中区	60,898	35,137	1,937	23,750	74	57.7	3.2	39.0	0.1
	東区	35,616	28,029	605	6,888	94	78.7	1.7	19.3	0.3
	南区	64,558	43,634	882	19,938	104	67.6	1.4	30.9	0.2
増減数(世帯)	岡山市	19,088	4,582	△ 845	15,664	△ 313				
	北区	9,905	899	△ 736	9,912	△ 170				
	中区	4,051	1,737	△ 24	2,381	△ 43				
	東区	1,317	391	△ 120	1,114	△ 68				
	南区	3,815	1,555	35	2,257	△ 32				
増減率(%)	岡山市	6.3	2.7	△ 14.7	12.1	△ 47.7				
	北区	6.9	1.5	△ 31.5	12.5	△ 44.3				
	中区	6.7	4.9	△ 1.2	10.0	△ 58.1				
	東区	3.7	1.4	△ 19.8	16.2	△ 72.3				
	南区	5.9	3.6	4.0	11.3	△ 30.8				

注) 総数には、住宅の建て方「不詳」を含む。

(2)住宅の所有の関係

【市】

持ち家の割合は 55.8%

令和2年の住宅に住む一般世帯数を住宅の所有の関係別にみると、持ち家が180,711世帯で、借家等は139,166世帯となっている。持ち家の割合は、平成12年調査以降56%台で推移していたが、令和2年調査で55%台へ若干減少した。【図18,表25】

図18 住宅の所有の関係別住宅に住む一般世帯数の推移 - 岡山市(平成7年~令和2年)

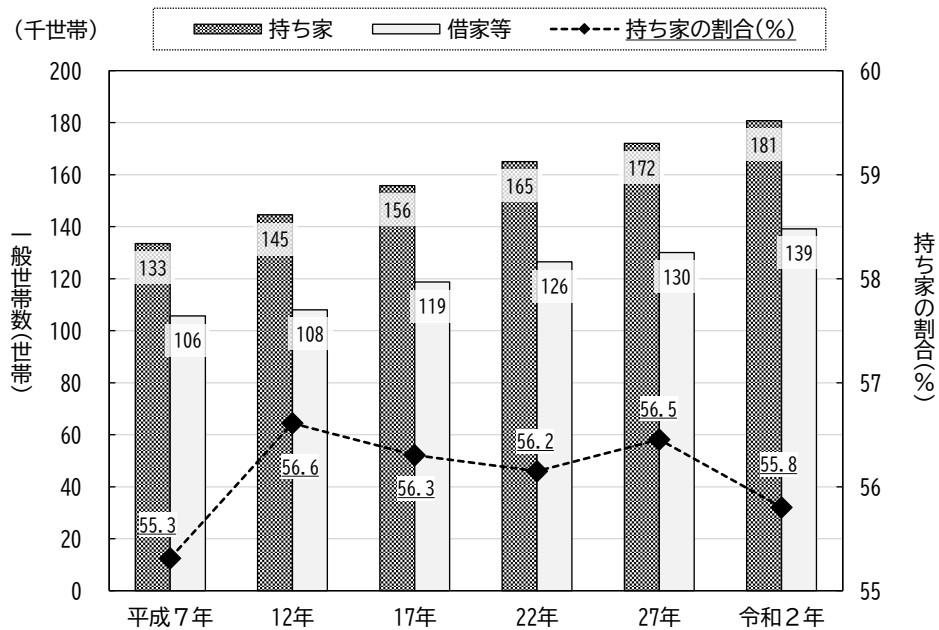


表25 住宅の所有の関係別住宅に住む一般世帯数の推移 - 岡山市(平成7年~令和2年)

年次	住宅に住む一般世帯(世帯)			一般世帯に対する 持ち家の割合(%)
	総数 1)	持ち家	借家等 2)	
平成7年	241,313	133,479	105,682	55.3
12年	255,293	144,520	108,029	56.6
17年	276,593	155,731	118,674	56.3
22年	293,815	164,979	126,462	56.2
27年	304,753	172,044	130,032	56.5
令和2年	323,841	180,711	139,166	55.8

1) 「総数」には間借り、住宅以外に住む一般世帯、住居の種類「不詳」を含む。

2) 「借家等」とは、公営・都市再生機構・公社の借家、民営の借家、給与住宅の合計。

【行政区】

持ち家の割合は、東区が 73.0%で最も高い

行政区別にみると、持ち家の割合が最も高いのは東区(73.0%)で、次いで南区(64.7%)、中区(57.8%)と続き、北区では、持ち家(46.9%)より、借家等の割合が高く、半数以上(51.9%)を占めている。【表 26】

表 26 行政区、住宅の所有の関係別住宅に住む一般世帯数 -岡山市、行政区(令和2年)

行政区	住宅に住む一般世帯(世帯)							一般世帯に対する 持ち家の割合(%)
	総数 1)	持ち家	借家等				間借り	
			総数	公営・都市再生 機構・公社の借家	民営の借家	給与住宅		
岡山市	323,841	180,711	139,166	6,025	122,717	10,424	3,964	55.8
北区	153,586	71,979	79,743	1,186	72,279	6,278	1,864	46.9
中区	64,949	37,513	26,774	2,849	22,380	1,545	662	57.8
東区	36,933	26,957	9,431	961	7,767	703	545	73.0
南区	68,373	44,262	23,218	1,029	20,291	1,898	893	64.7

1) 「総数」には住宅以外に住む一般世帯、住居の種類「不詳」を含む。